

第1学年 図画工作科学習指導案

1 題材名 カラフルいろみず

「造形遊び A表現(1)ア,(2)ア, B鑑賞(1)ア, 共通事項(1)ア, イ」

児童は、7月にアサガオの花で色水をつくる活動を行った。花びらの枚数や水の量を変えることで、色水の色が濃くなったり薄くなったりすることに気付くことができた。本題材では、色水の濃淡だけではなく、新しい色や好きな色を見付けたり自分が思う色をつくったりできるようにする。さらに自分たちでつくったそれらの色水から、面白い活動を思い付いたり考えたりする力や、考えた活動を実現するために色の並べ方や色の仲間の分け方を工夫したりする力を育てる。またこれまでの図工の授業では、自分のつくりたいものを黙々とつくる様子が見られたが、友達の活動にも目を向けて、その活動の面白さや楽しさを感じ取ったりする力を育てる。

本学級には、つくりたいものや描きたいものを次々に思い付いて、どんどん活動を進める児童もいるが、活動の内容によっては、つくりたいものや描きたいものが思い浮かばない児童や考えたことを思い通りに表現することが難しく活動が進まない児童もいる。図工の時間を楽しみにしている児童は多いが、作品への取り組み方には個人差がある。造形遊びでは、上手につくる技術だけではなく、自分から進んで材料にかかわっていくことを通じて、つくりながら考えたり様々な方法を試したり納得するまでつくり直したりするなど手や体全体の感覚を十分に働かせて、つくりだす喜びを味わわせたい。

指導に当たっては、児童がやってみたいことを思い付けるように、色水をつくる時間を十分に保証する。そのとき、自分がつくりだした色だけでなく、友達のつくりだした色にも目が向けられるようにグループ活動を取り入れる。また児童が失敗を恐れずにどんどん試したり、のびのびと発想を展開させたりできるように、児童の気づきや気持ちに共感し、児童の思いを受け止められるようにする。

2 題材の目標

- (1)・色水をつくったり並べたりするときの感覚や行為を通して、いろいろな色や形などに気付く。
 - ・共用の絵の具に十分に慣れるとともに、色水を混ぜたり並べたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくる。
- (2)・色水の色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考える。
 - ・色水やつくったものなどの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
 - ・いろいろな色や形などを基に、自分のイメージをもつ。
- (3)・楽しくいろいろな色水をつくることから思い付いたことを試す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を想像しようとする。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>色水をつくったり並べたりするときの感覚や行為を通して、いろいろな色や形などに気付いている。</p> <p>色水を混ぜたり並べたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。</p>	<p>いろいろな色や形などを基に、自分のイメージをもちながら、造形的な活動思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>いろいろな色や形などを基に、自分のイメージをもちながら、色水やつくったものなどの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい楽しくいろいろな色水をつくることから思い付いたことを試す学習活動に取り組もうとしている。</p>

4 指導計画（2時間 本時1／2）

時間	ねらい・学習活動	評価の観点	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 色水をつくり方を知り、つくりだす喜びを味わい楽しくいろいろな色水をつくる。 絵の具を使ったり、色水同士を混ぜたりする活動を通して、いろいろな色に気付く。 自分や友達が見付けたったりつくったりした色水からしたい活動を考える。 	<p>態 ○</p> <p>知 ◎</p> <p>思 ◎ (発想や構想)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様子を観察し、指導に生かす。(観察, 対話) 活動の様子を観察する, 問いかける, 作品を見るなどして学習状況を把握し, 記録に残す。(観察, 対話, 作品) 自分や友人の作品を見て, よさや面白さ, 表し方の工夫などについて感じ取り, 話し合っている様子を観察する, 問いかけるなどして学習状況を把握し, 記録に残す。(観察, 対話)
2	<ul style="list-style-type: none"> つくった色水から, 手や体全体の感覚などを働かせ, 活動を工夫してつくる。 自分や友達がつくったものなどの造形的な面白さや楽しさ, 造形的な活動, つくり方などについて, 感じ取ったり考えたりし, 自分の見方や感じ方を広げる。 	<p>思 ◎ (発想や構想)</p> <p>思 ◎ (鑑賞)</p> <p>態 ◎</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子を観察する, 問いかける, 作品を見るなどして学習状況を把握し, 記録に残す。(観察, 対話, 作品) 自分や友人の作品を見て, よさや面白さ, 表し方の工夫などについて感じ取り, 話し合っている様子を観察する, 問いかける, などして学習状況を把握し, 記録に残す。(観察, 対話, 作品) 活動全体を通して把握し, 記録に残す。(観察, 対話, 作品)

○題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し記録に残す。

5 本時

(1) 目標

いろいろな色の色水をつくりだすことを楽しみ、自分や友達がつくりだした色のよさや面白さに気付くことができるようにする。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
10分	1 本時の活動への関心をもち、本時のめあてをつかむ。	本時の活動のめあてを確認させる。		
いろいろないろのいろみずをつくってみよう。				
25分	2 色水同士を混ぜて、自分の好きな色水を見付けたりつくったりする。	色をつくり方がよく分らないという児童には、手順を確認しながら、実際に試してみせる。 色水ができてくるのと、それを並べる児童も出てくる。意図を問うなど、児童の漠然とした疑問を自ら捉えよう。	つくりだす喜びを味わい楽しくいろいろな色水をつくる。【態度】 絵の具を使ったり、色水同士を混ぜたりする活動を通して、いろいろな色に気付く。【知識】	観察 対話 作品 観察 対話 作品
10分	3 自分や友達が見付けたりつくったりした色水から楽しい活動を考える。	自分や友達の様子や動きを振り返りながら、考えられるよう促す。		

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな色の色水をつくりだすことを楽しむことができる。 自分や友達がつくりだした色のよさや面白さに気付くことができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	<ul style="list-style-type: none"> 児童の思いに共感し、どんどん活動が進められるように声をかける。 何色を混ぜてできた色なのかを想像させたりものに例えたりするなど色のよさや面白さを見つけるヒントを伝える。